

英国競馬局はゴドルフィンの馬 425 頭の薬物検査を待つ

英国競馬局は、ニューマーケットにあるゴドルフィンの厩舎の馬を対象とした薬物検査の結果を公表するにはさらに 2 週間はかかる、と予想している。目下実施中の検査の規模は、公式の推定でも 425 頭の馬が検査中ということから、推して知るべしである。

by HOTSPUR (JA McGrath)

2013 年 5 月 9 日

ゴドルフィン、当社のスナイデルウェル・ロード調教センターの調教師であるサイド・ビン・スルールに対し、一時的な追加の仕事として、モールトン・パドックス厩舎の検査完了後にこのヤードの責任者となることを求めた。

BHA（英国競馬統括機構）の公正・法律・リスク担当理事であるアダム・ブリッケルは、「我々はすでにサイド・ビン・スルールとゴドルフィンに対して通告した。ゴドルフィンがニューマーケットで所有するすべての馬について検査結果が出るまで、このヤードが再認可されることはない、と。」

マームード・アル・ザルーニ調教師が 15 頭の馬のステロイド・ドーピングを認めた後に受けた 8 年間の資格停止処分について、これが重すぎることを BHA に訴えるヒアリングの日程は、まだ決まっていない。当初、彼は告発に対して罪を認め、法的代理人を立てることも辞退していた。今回アル・ザルーニは、国際的な法廷弁護士であるウィリアム・クレグ QC（勅選弁護士）の助力を得て停止期間の長さを争うことにした。ゴドルフィンは、アル・ザルーニの訴えは元調教師と競技を管理する側との問題だ、と繰り返し主張してきた。

アル・ザルーニは質問に答えて言った。英国に競技馬へのステロイド投与を禁じるルールがあることを知らなかった。ドバイでは、競技中に馬が検査されて陽性結果が出ない限りは許されるからだ。だから私は薬物を自分の荷物の中に隠して英国に持ち込んだ、と。